

## 美しく豊かな自然を守りたい

### 伊万里湾磯やけ対策・環境浄化の森づくり

御厨町神原地区の魚つき保安林内で、4月8日、伊万里湾磯やけ対策・環境浄化の森づくり実行委員会（松本健嗣委員長）が主催する植樹体験が実施されました。

この事業は、豊かな森づくりによる環境浄化作用を生かして藻場を再生し、伊万里湾の美しい環境を守り育てていこうと実施されたものです。

この日集まった120人の参加者は、約600本のクヌギの苗木に海草や魚の死骸などを再利用して作られた堆肥を施し、1本1本を丁寧に植樹しました。



## 元気に泳いで大きくなってね！

### 志佐川で稚アユを放流

稚アユの放流が4月13日、志佐川で行われました。

子どもたちの体験学習を兼ねた志佐川の水産資源の維持活動の一つとして、毎年この時期に放流しています。この日放流したのは、大分県日田市から運ばれた体長8センチほどの稚アユ5万尾。市職員などが約2時間かけて志佐川の4カ所で放流しました。

上志佐郵便局裏の川岸では、上志佐保育園の年長組の園児3人と上志佐小学校3・4年生20人が生き物との触れ合いを楽しみながら稚アユを放流しました。



## 魚市応援歌で松浦をPR

### マイク濱さんが訪問

今年2月に松浦魚市場で新曲のカラオケ映像の撮影を行った、演歌歌手のマイク濱さんが4月4日、撮影のお礼のため市役所を訪れました。

マイク濱さんの曲は、回転寿司チェーン店のCMソングとしてテレビでも流れています。

新曲のタイトルは「糶」。今回撮影された映像には、松浦魚市場での威勢のよい実際の競りの様子が収録されています。

マイク濱さんは、「この曲のキャッチフレーズは、全国の魚市応援歌。この曲で全国を回りながら、撮影でお世話になった松浦市も一緒にPRしたい」と話しました。



## 満開の桜の下で

### 第20回福島「桜春まつり」

福島地域の春の風物詩、福島「桜春まつり」（福島YOKA隊主催）が4月7日と8日、大山公園で開催されました。

このまつりは、大山公園のソメイヨシノや山桜など約800本の桜が満開となるこの時期に、同公園をPRしようと毎年開催されています。

公園内のステージでは、フラダンス、舞踊、謡曲、民謡、詩舞、太鼓、よさこい踊りのほか飛び入り参加のカラオケ大会なども行われ、集まった市内外の観客からたくさんの拍手が送られていました。



# 小さな『鷹』が全国大会に！

鷹島町の少年ソフトボールチーム「鷹島ホークス」が全日本小学生男子ソフトボール大会に出場！ 全国の強豪に挑む。



## Interview 鷹島ホークス

鷹島小学校に通う児童 19 人が所属する少年ソフトボールチーム『鷹島ホークス』（西吉純也監督）。3月29日から4月1日にかけて鹿児島県日置市で開催された第5回春季全日本小学生男子ソフトボール大会に長崎県代表として出場しました。

同大会には、全国から48チームが参加し、息詰まる熱戦が繰り広げられました。大舞台に挑んだ感想やチームの紹介など西吉監督にお話を聞きました。



Q チームの紹介をお願いします。

A 他のチームと比べ、打撃や守備、機動力など何かに自信があるというわけではありません。また、少しおとなしいような気もしますが、チーム全体の総合力で勝負し、一旦調子に乗ると爆発的な力を発揮します。

Q 全国大会に出場した感想は？

A 大舞台の大きな緊張感と独特の雰囲気にもまれてしまい、普段の実力が発揮できず、残念ながら勝利を取めることはできませんでした。技術面というよりもメンタル面での課題を残す結果となりましたが、全国大会出場という貴重な

経験は、チームや子どもたちの成長にとって、いい経験になったと思っています。

Q 指導する中で心掛けていることは？

A とにかく楽しんでソフトボールをやって欲しいと思います。楽しむ気持ちがあるからこそ頑張る意欲が湧いてくる。それが技術と心の成長につながっていくものだと思います。

また、子どもたちにとって分かりやすい言葉や表現を選びながら指導することに心掛けています。

Q チームとしての今後の抱負を教えてください。

A 目標は大きく「日本一」と言うのは大きですが、今回の全国大会での経験を生かしながら、志を高く、日々の練習や試合などの実戦経験をしっかりと積み重ね、一つ一つステップアップしていきたいと思っています。



### ◎ PROFILE

#### 鷹島ホークス

現在、部員 19 人。放課後に 2 時間半から 3 時間程度の練習に励んでいます。